

論点整理の概要（基本的考え方）

I AI行政活用の「ジャパンモデル」をつくる

- ・都市レベルで、総合的なAI活用に取り組んでいる事例は世界的にもまだ少ないうえ、区市町村も含め東京が抱えるAI活用の課題は、全国どの自治体にも共通
- ・東京のチャレンジは、その取組のプロセスも含めて共有することが、日本全体の課題解決に貢献
- ・AI導入・活用のノウハウやナレッジは、AI行政活用の「ジャパンモデル」として、全国の自治体、さらに世界に広く共有

II 3つの視点から戦略的に取組を推進。それを支えるガバナンスやルールを確立

1

AIを「つかう力」

行政におけるAI開発力を高めるとともに、行政での活用が効果的な分野での活用・サービス変革を推進

2

AIで「聴く力」

行政のデジタルサービス広報・フロントサービスの仕組を充実させ、都民のコミュニケーションを高度化

3

AIを「つくる力」

東京、ひいては日本全体のAI開発力を底上げするため、都としてAI産業・基礎研究等に貢献

責任あるAI

都民の信頼と安心を得られるAI活用に向け、自治体におけるAIガバナンス、ルールを確立する

論点整理の概要（全体像）

		都からの問題提起	論点
A Iの3つの力	「つかう力」	<ul style="list-style-type: none"> 進化を続けるAIの可能性を見据え、行政においてどのような分野で活用を進めるべきか 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロントサービス（都民サービス）での活用 ・バックオフィス（各種審査業務等）での活用 ・使いこなすためのAIリテラシー
		<ul style="list-style-type: none"> ・行政においてAIを活用する上でどのような点に留意すべきか 	<ul style="list-style-type: none"> ・AIシステムのUI ・中小企業の「つかう力」 ・職員の参画
		<ul style="list-style-type: none"> ・行政におけるAI開発力を向上させるためには、どのような取組が有効か ・都がGovTech東京とともに、オール東京での活用を目指して構築中の生成AIプラットフォームを利用した取組はどう進めていくべきか 	<ul style="list-style-type: none"> ・生成AIプラットフォームの発展 ・全国自治体への展開
	「聴く力」	<ul style="list-style-type: none"> ・都民の意見を収集・分析し、広聴を高度化する上で、生成AIにはどのような活用可能性があるか。留意すべき点はなにか 	<ul style="list-style-type: none"> ・最適な手法の確立 ・デジタル広聴におけるリスクへの向き合い方
		<ul style="list-style-type: none"> ・都民からの問合せなどのフロントサービスにAIを活用することは有効か 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代チャットボットの実現 ・コンタクトセンターの導入に向けた検討
	「つくる力」	<ul style="list-style-type: none"> ・東京、ひいては日本のAI産業を発展させるため、都としてどのような取組ができるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・データセンターのあり方 ・海外ビッグテックとの交流 ・世界のAI人材・企業等への東京の魅力発信 ・人材育成に向けた取組
<ul style="list-style-type: none"> ・日本のAI開発力を向上させるためにはどのような人材育成や気運醸成が有効か 		<ul style="list-style-type: none"> ・民間のAI活用に向けた都としてのデータ政策 ・AI開発の気運醸成 	
責任あるA I	<ul style="list-style-type: none"> ・都民の信頼と安心を得られるAI活用の実現に向けてどのように取り組むべきか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガバナンス・ルールの整備 ・定期的なレビュー ・集合知の活用 	